



株券の寄付に対する感謝状贈呈式には成羽小・中学校の児童と生徒も参加し、お礼の言葉を述べました。（7月17日）

文化施設で地域に貢献したい

伊藤 謙介さん 名誉市民・京セラ(株)元代表取締役会長

成羽町で生まれ育った伊藤謙介さんは、後に世界的な企業となる京セラ株式会社の創業時から中心メンバーとして活躍され、平成28年には本市の名誉市民に推戴^{すいたい}されました。

故郷の子どもたちが立派な社会人に育ってほしいという思いから、これまでも本市へ多額の寄付をいただいています。

生まれ育った故郷の人との交流を大切にされてきた中で、「文化ホールを建設し、地域に貢献したい」という思いを語られ、このたびの整備に向けて5億円の寄付をいただきました。

たいこまるプラザ2階に「伊藤謙介言葉のギャラリー」として顕彰室を設置し、伊藤さんの功績などを紹介しています。

なお、本年7月には京セラ(株)の株券3万株の贈呈をいただき、市はその配当金で小・中学校への図書を購入することとしています。

高梁市成羽複合施設(たいこまるプラザ)概要

施設コンセプト

～つなぐ～ エリア・人・資源・自然をつなぐ

- ① 北側駐車場とエントランス(なりわ広場)、ホールまで、一体的に活用できる開放的な構造
- ② 隣接する成羽美術館との連携を可能にする導線
- ③ 効率的な行政サービスの提供を実現

構造・規模

鉄筋コンクリート造2階建(1部3階)
延床面積 2,444㎡(ホール 734㎡、地域局(公民館事務所含む) 190㎡、市民活動室など 240㎡、図書室 183㎡、その他 1,097㎡)、敷地面積 6,066㎡

事業費

設計(基本・実施・監理)…7400万円／建設工事費(建築・電気設備・機械設備)…10億2400万円／外構・備品・顕彰室整備…2億6200万円
※用地費・施設改修費などを除く

伊藤記念ホール

収容人員…250人(移動観覧席156席)

成羽公民館図書室

蔵書数…約20,000冊

「たいこまる」とは

隣接する成羽美術館や成羽小学校の一帯は、元和3(1617)年に因幡国若桜^{いなばのくにわかさ}から成羽に入封された山崎家治^{やまさきいえはる}が築いた成羽藩の陣屋^{しんや}の跡地です。

山崎氏が陣屋町と御殿を整備した頃、南にそびえる鶴首山^{かくしゅざん}の中腹の平坦地^{とき}で時を知らせる太鼓を鳴らしていたとされ、地元住民の間ではその地を「たいこまる」と呼び、今日まで親しまれてきました。



成羽美術館東側の成羽総合福祉センター跡地に建設が進められていた高梁市成羽複合施設(愛称…たいこまるプラザ)が完成し、8月31日(月)に開館します。

たいこまるプラザは、地域局・公民館・図書室・観光案内所・バス停留所の機能を集約し、伊藤謙介さんからの寄付により整備した「伊藤記念ホール」を併せ持つ複合施設です。

エリア・人・資源・自然をつなぐというコンセプトで作られた、たいこまるプラザ。成羽地域だけでなく、多くの人にご利用いただきたいと願っています。

☎成羽地域局 ☎(42)3211
成羽公民館 ☎(42)2525
成羽公民館図書室 ☎(42)2589
観光案内所 ☎(42)4325
社会教育課 ☎(21)1514

エリア・人・資源・自然をつなぐ
たいこまるプラザ 開館！